

6月6日（日）

統（すえ）神社の境内社である、木花開耶姫神社と市杵島姫神社の竣功祭を行いました。この二社は3年前の九月に台風により損壊しました。その後、修復のためにとご厚志を申し出てくれた人がいて、今日の竣工祭となりました。

「ここに祀られているのは、なんという神様ですか」と聞かれました。概略を説明したあとで思いました。神様の名前や御神徳のことが分からなくても、修復のための寄付をすることに、少し疑問符がつきました。逆に、神様のことをもっと知らせていかなければならない、とも思いました。一般の人にとって、神様はみんな同じなのかもしれません。確かにどの神社に参っても、主たる御神徳は違いますが御利益は幅広く言われています。健康安全、商売繁盛、交通安全、良縁（縁結び）等々。

それぞれの神社には必ず由緒があります。小さな神社では、その由緒が伝わっていないだけであって、由緒が無く創建されるということはありません。その由緒を知る、あるいは想像することは大事なことだと考えます。その一助も神職の務めでしょう。